

29
モ一七
聖徒伝 55

「天の果てに 追いやられても」

申命記29～30章 土地の契約

申命記

【今日のアウトライン】

0. イントロダクション

I. 予告される背きと裁き 29章

II. イスラエルの回心と回復 30章

III. まとめと適用

常に先立つ主の恵み

神の願いを選び取ろう



【アブラハム契約とは？】

聖書全体を貫く、大原則

神の世界回復と人類救済計画の柱

【三つの主な条項】

①子孫の約束

②土地の約束

③祝福(地上の諸民族の祝福)の約束

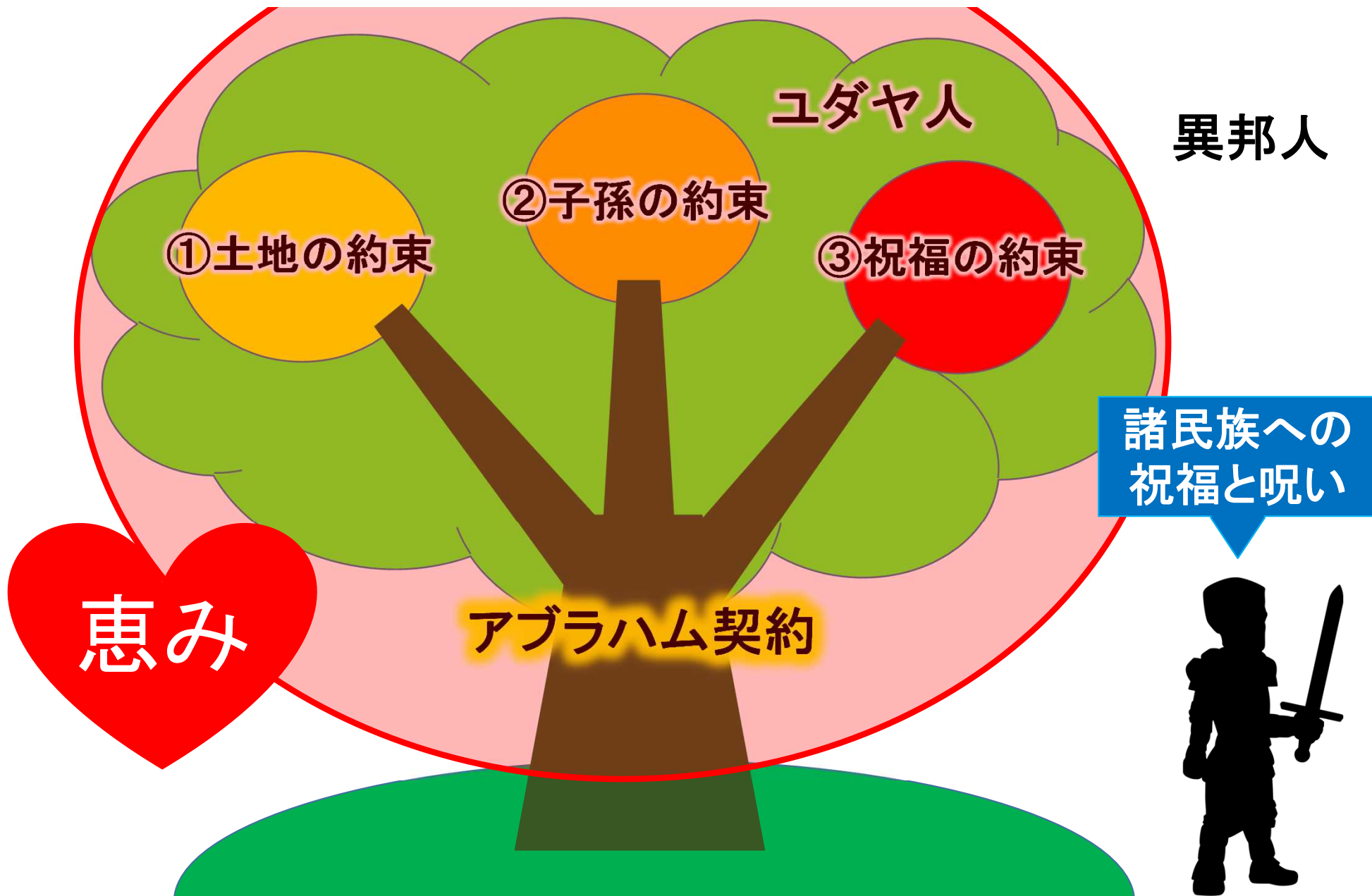
※付帯条項 ...祝福と呪い。イスラエルの生存保証。

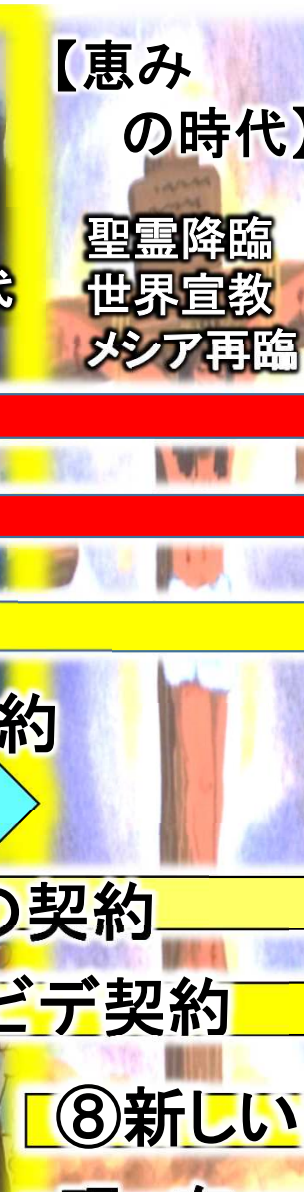
※しるし ...割礼

イスラエルを
守り導く土台



【アブラハム契約】





【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

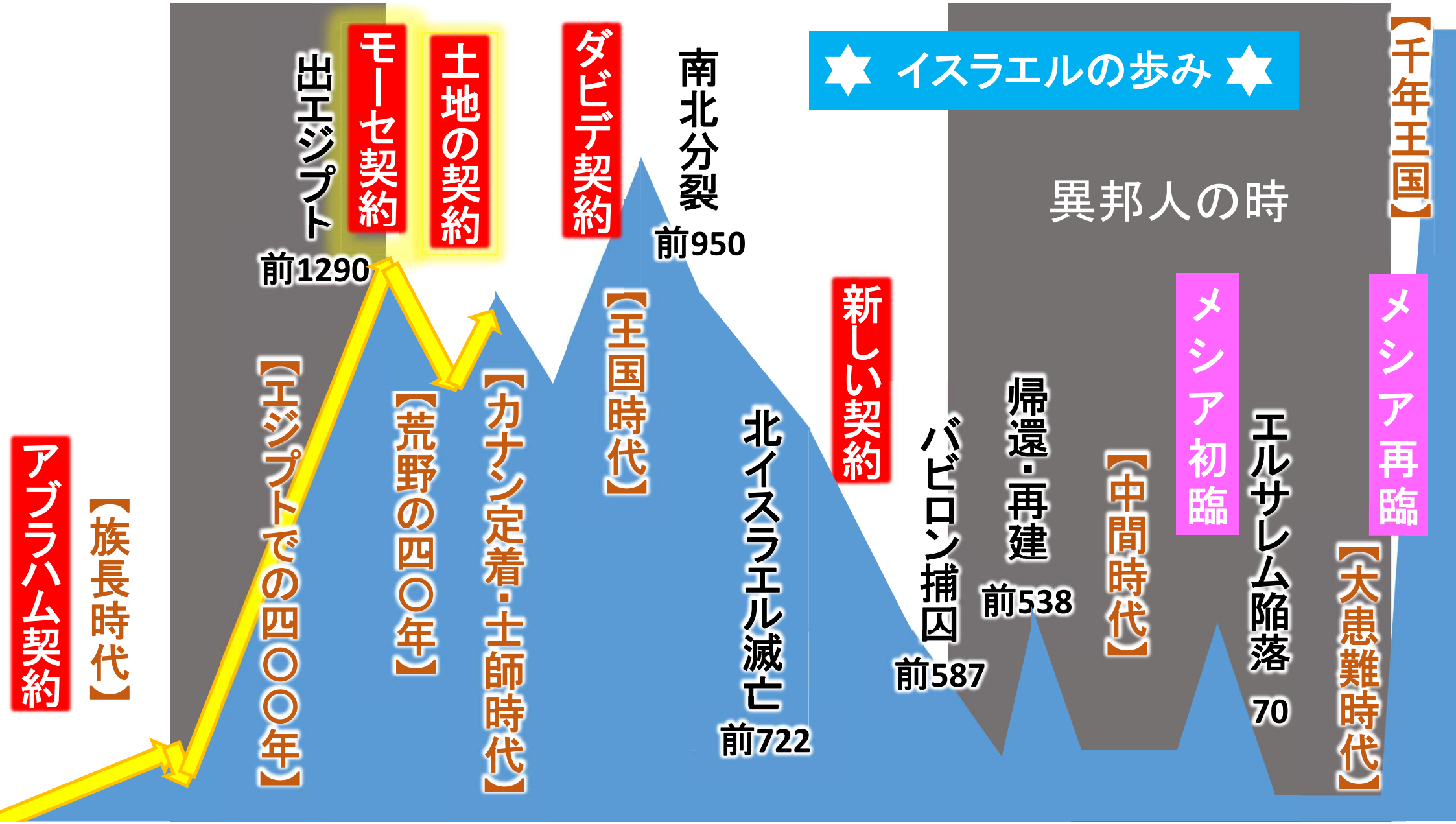
神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!

過去

現在

未来

★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

【エジプトでの四〇〇年】

前1290

出エジプト

モーセ契約

土地の契約

【荒野の四〇年】

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

前950

南北分裂

北イスラエル滅亡
前722

新しい契約

前587

バビロン捕囚

前538

帰還・再建

【中間時代】

異邦人の時

メシア初臨

エルサレム陥落
70

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

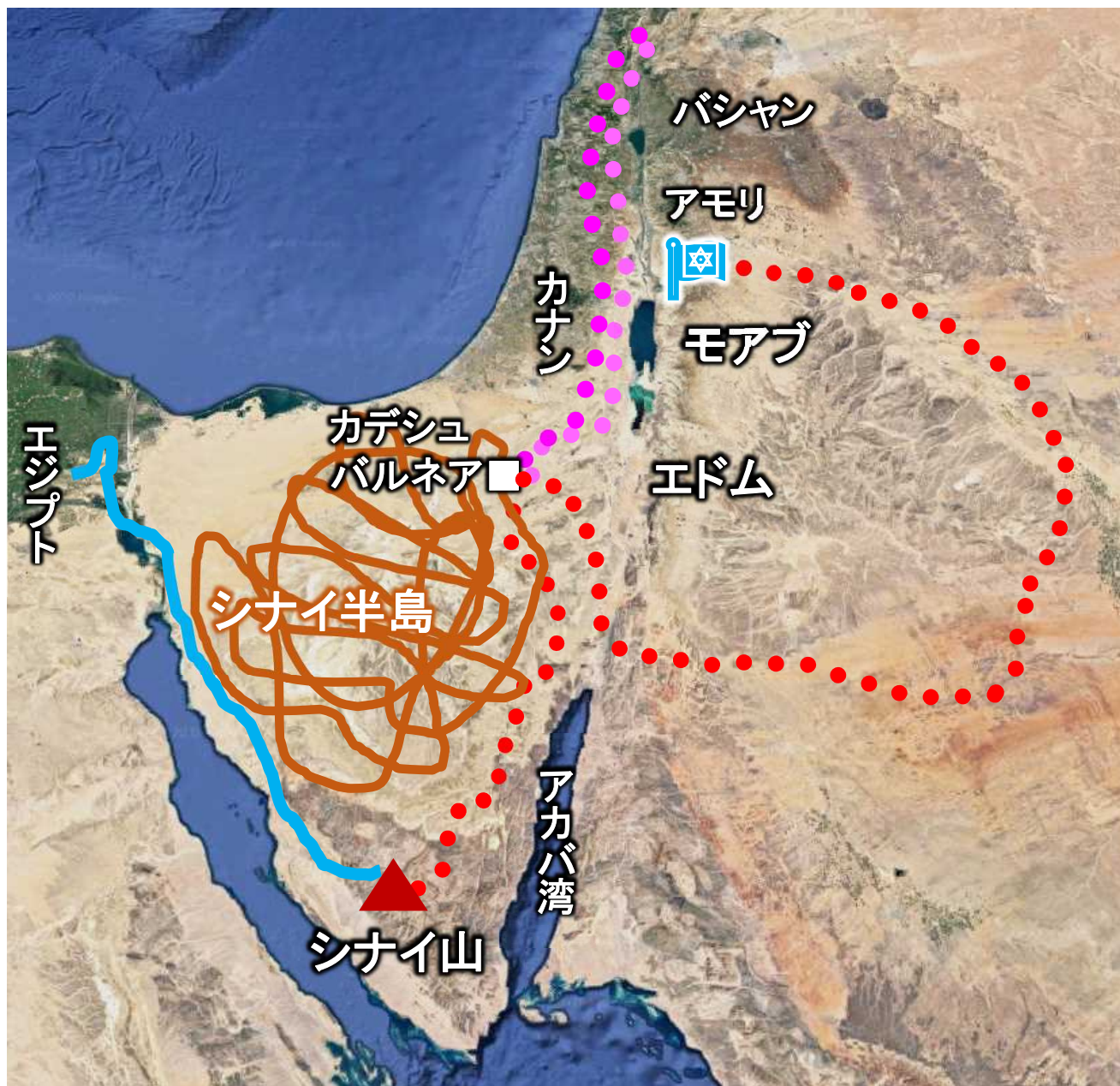
【荒野の40年】

■カデシュ・バルネア事件

イスラエルは、神に反逆し、その世代の者は、荒野で死に絶えることとなった。

■ エジプトから約束の地まで、歩いて10日ほどの距離をイスラエルは、40年放浪した。

■ ヨルダン川の東まで、イスラエルはやってきた。



【申命記・アウトライン】

I. 過去の回顧 1～4章

ホレブ山地からヨルダン川東岸まで 1～4章

II. 律法の解説 5～26章

① 十戒 5章

② 主要な規定(シエマ6:4～5) 6～11章

③ その他の諸規定 12～26章

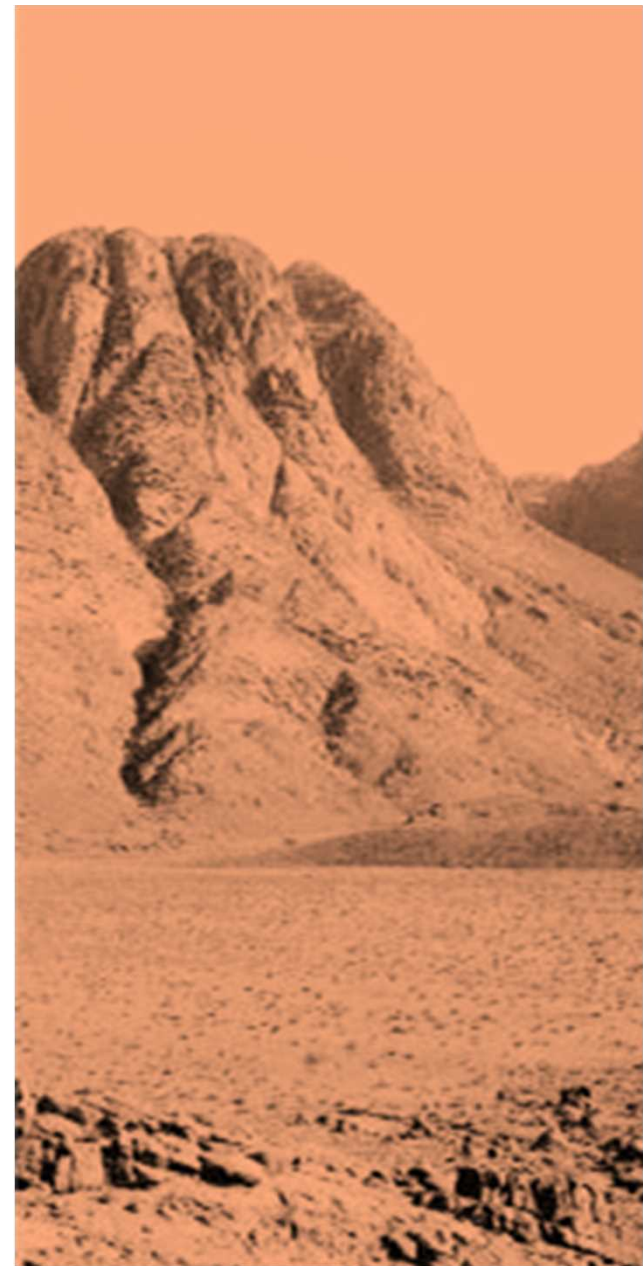
III. 未来の展望 27～30章

① 祝福と呪い 27～28章

② 「土地の契約」 29～30章

IV. 指導者の交代 31～34章

モーセからヨシュアへ



【律法が教える祝福と呪い】 レビ記26章のまとめ

■主に従うイスラエルへの3つの祝福

- ①物質的な祝福 ...季節の雨。豊かな実り
- ②平和の約束 ...悪い獣も、侵略者もなくなる
- ③主の臨在の約束 ...民の間に主が住まわれる

■不従順への5つの呪い、7倍の裁き

- ①病と敵からの恐怖 ...神が顔を背けたため。
- ②飢饉
- ③野の獣 ...荒廃。
- ④戦争 ...疫病、飢饉
- ⑤地の荒廃と民の離散



守れば、祝福
破れば、呪い
それが、律法

【祝福と呪いが教えること】

■ 律法は、「**聖**」であることをイスラエルに求める。

➡「**聖**」とは、「完全に他と区別された状態」。

■ 神が、恵みと憐れみにより、イスラエルを選ばれた。

➡イスラエルも神を選び取っていかなければならない。

■ 神を選べば**祝福**。拒めば**呪い**。 ➡**民の選択の結果**。

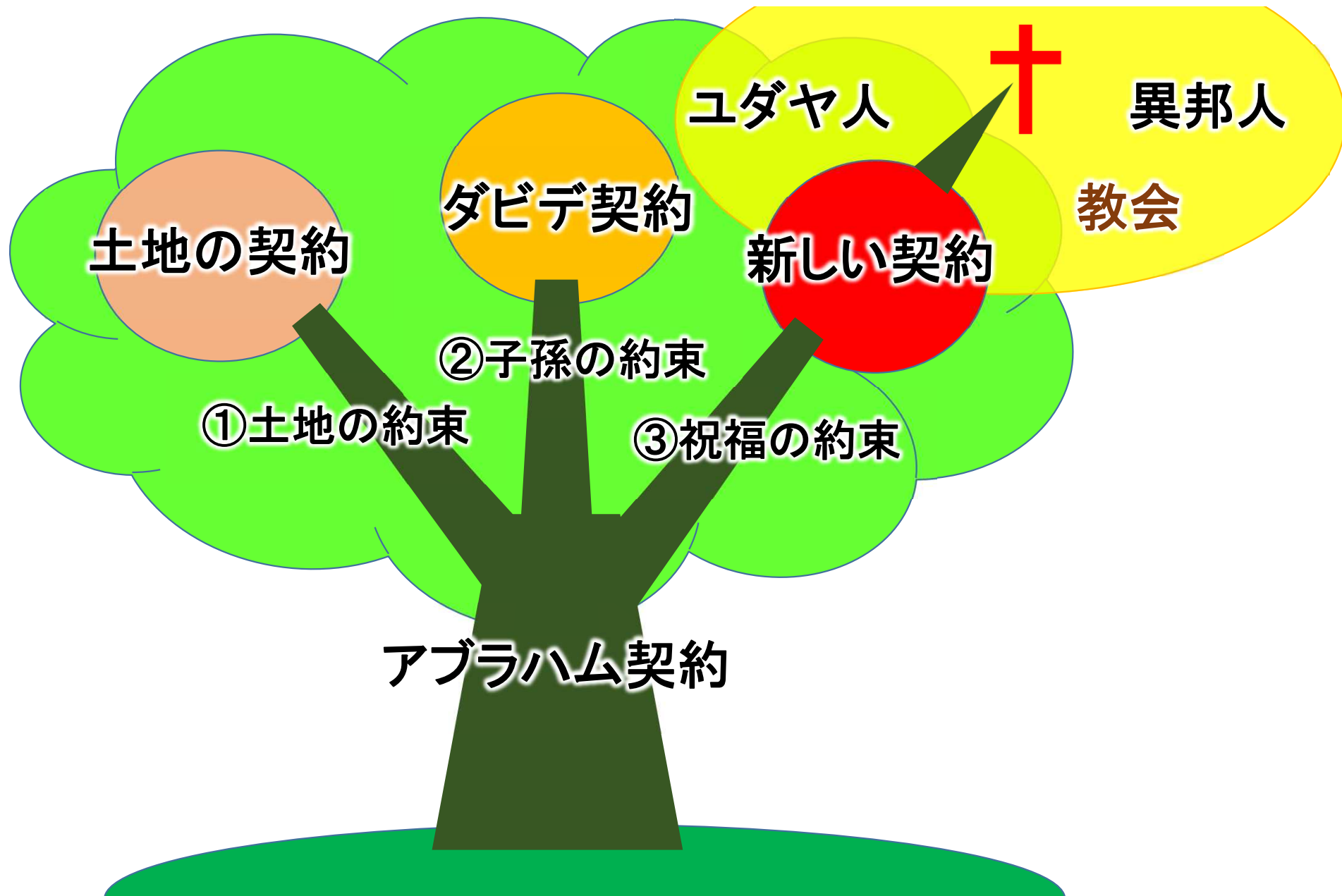
■ 解放された後の歩みにも、常に求められる選択がある。

➡神に従い**祝福**を受ける。 ➡神に逆らい**呪い**を受ける。

※クリスチャンにも、蒔いた種の刈り取り、懲らしめはある。

祝福と呪いは
神の民の
成長の原則!!







土地の契約から受け取るべき、
神さまの三つのメッセージ

①あなたは、罪を犯すよ。

②でもわたしは、見捨てないよ

③あなたが悔い改める時を待ってるよ

I. 予告される背きと裁き

申命記29章

マサダから死海を臨む



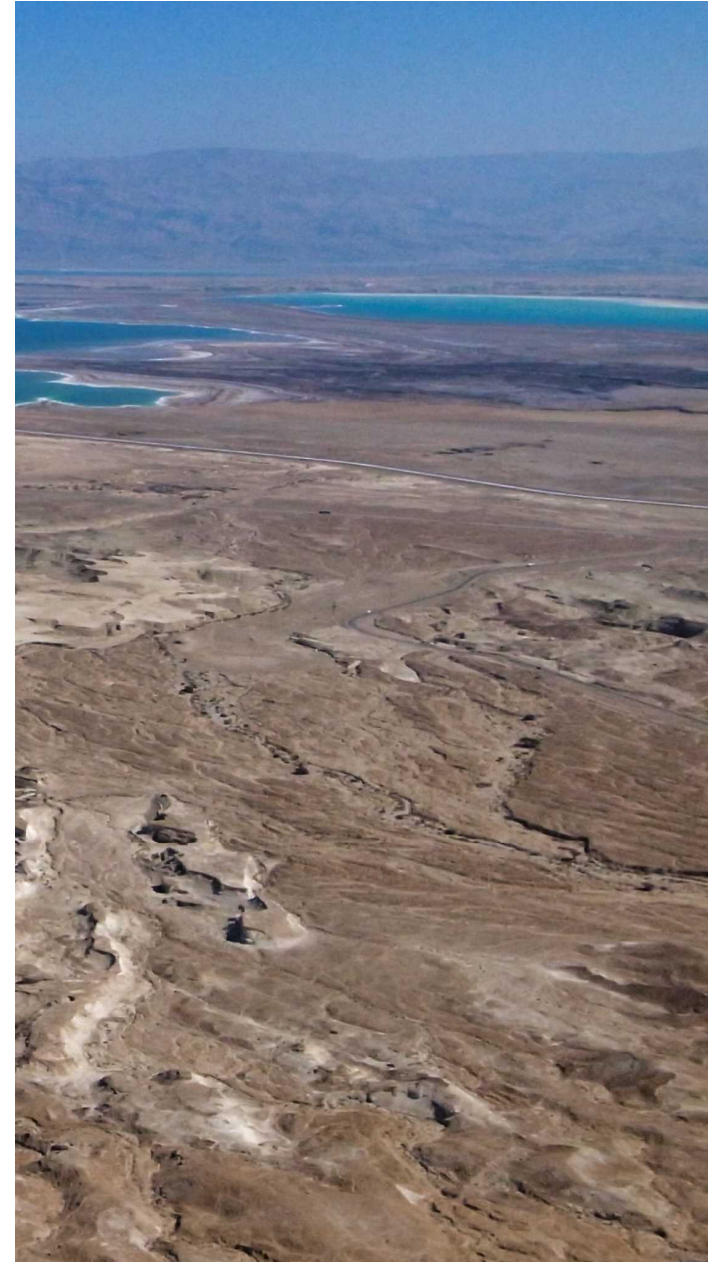
【土地の契約】 申29:1

これらは、モアブの地で、【主】がモーセに命じて、イスラエルの子らと結ばせた契約のことばである。ホレブで彼らと結ばれた契約とは別である。

■この契約は、ホレブ山で結ばれた、シナイ契約(モーセ契約)・律法とは別のもの。

■約束の土地について記していることから、「土地の契約」(パレスチナ契約)と呼ばれる。

■土地の契約は、約束の地を目の前に、モーセを通して新世代のイスラエルに結ばれた。



【頑なさにされたイスラエル】 申29:2～4

モーセはイスラエルをみな呼び寄せて言った。あなたがたは、エジプトの地で、ファラオとそのすべての家臣たちとその全土に対して、【主】があなたがたの目の前でなされたことをことごとく見た。

すなわち、あなたが自分の目で見たあの大きな試み、あの大きなしるしと不思議である。

しかし、【主】は今日に至るまで、あなたがたに悟る心と見る目と聞く耳を与えられなかった。*

* イスラエルの頑なさを示す言葉。

➡頑なさは、自らの選択の結果に他ならない。

■しかし、民が悟り、目を開き、聞き従う時は来る。



【神の御手の完全な守りの中で】 申29:5～6

私は四十年の間、荒野であなたがたを導いたが、あなたがたが身に着けている上着はすり切れず、その履き物もすり切れなかった。

あなたがたはパンも食べず、ぶどう酒も強い酒も飲まなかった。それは、「わたしがあなたがたの神、【主】である」と、あなたがたが知るためであった。

- * 民の衣服にも現れていた、神の守りのしるし・奇跡。
 - ➡ 神が、イスラエルを完全に守られていた。
- * パン、ぶどう酒は、地上で最も大切な食べ物。
 - ➡ イスラエルは、天のパン、マナで完全に養われた。
- 主が、荒野でイスラエルを聖別された。



【体験した神の恵み】 申29:7~9

あなたがたがこの場所に来たとき、ヘシュボンの王シホンとバシヤンの王オグが出て来て、私たちを迎え撃ったが、私たちは彼らを討ち破った。*

私たちは彼らの地を取り、これを相続地としてルベン人とガド人と、マナセ人の半部族に分け与えた。

あなたがたはこの契約のことばを守り、それを行いなさい。**あなたがたのすることがすべて栄えるためである。**

* 土地を勝ち取った最初の戦い。新世代の初の戦い。

■ 神は、体験を通して、約束の確かさを教えられる。

➡それは、民を栄えさせ、恵みを味わわせるため。



【土地の契約・締結の呼びかけ】 申29:10～13

今日あなたがたはみな、あなたがたの神、【主】の前に立っている。すなわち、あなたがたの部族のかしらたち、長老たち、つかさたち、イスラエルのすべての人々、あなたがたの子どもと妻、宿営の内にいる寄留者、薪を割る者から水を汲む者に至るまでいる。

それは、あなたの神、【主】が今日あなたと結ばれる、あなたの神、【主】の契約とのろいの誓いとにあなたが入るためであり、先に主があなたに約束されたように、またあなたの父祖、アブラハム、イサク、ヤコブに誓われたように、今日あなたを立ててご自分の民とし、またご自分があなたの神となられるためである。



アブラハム契約
を土台に

土地の契約が
結ばれる!!

【永遠の契約】 申29:14～17

しかし私は、ただあなたがたとだけ、この契約とのろいの誓いを結ぶのではない。今日ここで私たちの神、【主】の前に私たちとともに立っている者たちとも、今日、私たちとともにここにはいない者たちとも結ぶのである。

事実、あなたがた自身、私たちがエジプトの地に住んでいたこと、また私たちが異邦の民の中を通過して来たことをよく知っている。また、あなたがたは、彼らのところにあつた忌むべきもの、すなわち木や石や銀や金の偶像を見た。

* 土地の契約は、イスラエルとの永遠の契約である。



【土地の契約への態度】 申29:18～19

万が一にも、今日その心が私たちの神、【主】を離れて、これらの異邦の民の神々のもとに行って仕えるような男、女、氏族、部族があなたがたのうちにあってはならない。あなたがたのうちに、毒草や苦よもぎを生じる根があってはならない。こののろいの誓いのことばを聞いたとき、心の中で自分を祝福し、「私は自分の頑なな心のままに歩んでも大丈夫だ」*
と言うなら、潤った者も渴いた者も等しく滅びることになる。

* 罪を軽んじ、自分で判断してしまうのが罪人の特徴。

■ 締結にあたり、改めてイスラエルに求められる聖別。

■ たいしたことはない、と見過ごしている罪がないだろうか。



【主の怒り】 申29:20～21

【主】はその者を決して赦そうとはされない。むしろ、そのとき、【主】の怒りとねたみはその者に対して燃え上がり、この書に記されている、すべてののろいの誓いがその者の上にのしかかり、【主】はその者の名を天の下から消し去られる。【主】は、このみおしえの書に記されている契約の、すべてののろいの誓いにしたがって、その者をイスラエルの全部族から選り分けて、わざわいを下される。

- 神は、愛するがゆえに、民の不貞をねたまれる。
- 神は、愛する者を、いつまでも罪の中に放置されない。



【イスラエルへの裁きの予告】 申29:22～24

後の世代、あなたがたの後に起こるあなたがたの子孫や、遠くの地から来る異国人は、その地の災害と、【主】がそこで起こされた病気を見て言うであろう。

その全土は硫黄と塩によって焼け土となり、種も蒔かれず、芽も出ず、草一本も生えなくなっていて、【主】が怒りと憤りでくつがえされた、ソドム、ゴモラ、アダマ、ツェボイムの破滅のようなので、すべての国々は言うであろう。「何のために、【主】はこの地にこのようなことをされたのか。この激しい燃える怒りは何なのか。」

■イスラエル地は、長らく、荒廃するまま見捨てられる。



【不従順と呪い】 申29:25～26

人々は言うであろう。「それは彼らが、彼らの父祖の神、【主】が彼らをエジプトの地から導き出したときに結ばれた契約を捨て、彼らの知らない、また彼らに割り当てられたのでもない、ほかの神々のもとに行って仕え、それらを拝んだからだ。それで【主】の怒りがこの地に向かって燃え上がり、この書に記されたすべてののろいが、この地にもたらされたのだ。

- 神の怒りは、神の所有するイスラエルにくだされ、イスラエルに所有がゆるされた土地に対してもくだされる。



【啓示と従順】 申29:28～29

【主】は怒りと憤りと激怒をもって彼らをこの地から根こそぎにし、ほかの地に彼らを投げ捨てられた。今日のとおり。」

隠されていることは、私たちの神、【主】のものである。しかし現されたことは永遠に私たちと私たちの子孫のものであり、それは私たちがこのみおしえのすべてのことばを行うためである。

神の啓示に従う責務が私たちにはある

- すべてのことは、主の御手の中にある。
- 主が明らかに示されたことを、信頼し、実行する責任が、律法を通して、イスラエルに与えられた。
- 主はすべてを担われる。私たちに負わせるのはごく一部。



Ⅱ. イスラエルの回心と回復

申命記30章



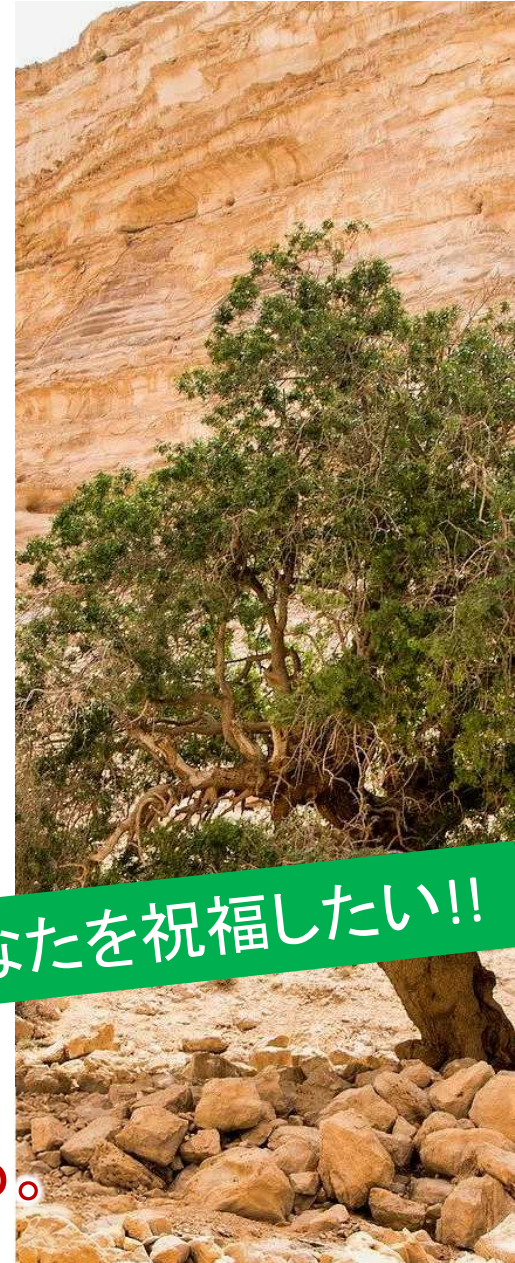
【回復の希望】 申30:1～3

私があなたの前に置いた祝福とのろい、これらすべてのことがあなたに臨み、あなたの神、【主】があなたをそこへ追い散らしたすべての国々の中で、あなたが我に返し、あなたの神、【主】に立ち返し、私が今日あなたに命じるとおりに、あなたも、あなたの子どもたちも、心を尽くし、いのちを尽くし、御声に聞き従うなら、あなたの神、【主】はあなたを元どおりにし、あなたをあわれみ、あなたの神、【主】があなたを散らした先の、あらゆる民の中から、再びあなたを集められる。

主は、あなたをゆるしたい!!

あなたを祝福したい!!

- 「なら」とあるが、常に先立つのは、主の恵み、憐れみ。
- ➔主は、あなたが罪から立ち返る時を待ち構えておられる。



【天の果てに追いやられても】 申30:4~6

たとえ、あなたが天の果て*に追いやられていても、あなたの神、【主】はそこからあなたを集め、そこからあなたを連れ戻される。あなたの神、【主】はあなたの先祖が所有していた地にあなただを導き入れ、あなたはそれを所有する。主はあなたを幸せにし、先祖たちよりもその数を増やされる。あなたの神、【主】は、あなたの心と、あなたの子孫の心に割礼を施し、*あなたが心を尽くし、いのちを尽くして、あなたの神、【主】を愛し、そうしてあなたが生きるようにされる。

* 天の果て ...地の果てよりも、はるか遠く。

* 聖霊の業。主の約束が心に刻まれる。(新しい契約)

➡イスラエルの民族的回心、メシア再臨、千年王国へ。



【永遠の裁き・永遠の祝福】 申30:7～10

あなたの神、【主】はあなたの敵に、あなたを迫害した、あなたを憎む者たちに、これらすべてののろいを下される。あなたは再び【主】の御声に聞き従い、私が今日あなたに命じる主のすべての命令を行うようになる。

あなたの神、【主】はあなたのすべての手のわざ、あなたの胎の実、家畜が産むもの、大地の実りを豊かに与えて、あなたを栄えさせてくださる。まことに【主】は、あなたの父祖たちを喜ばれたように、再び、あなたを栄えさせて喜ばれる。

これは、あなたが、あなたの神、【主】の御声に聞き従い、このみおしえの書に記されている主の命令と掟を守り、心のすべて、たましいのすべてをもって、あなたの神、【主】に立ち返るからである。



罪人の回復を
喜ぶことが
主の願い

【みことばは、あなたの口に、心にある】 申30:11～14

まことに、私が今日あなたに命じるこの命令は、あなたにとって難しすぎるものではなく、遠くかけ離れたものでもない。

これは天にあるわけではないので、「だれが私たちのために天に上り、それを取って来て、私たちが行えるように聞かせてくれるのか」と言わなくてよい。

また、これは海のかなたにあるわけではないので、「だれが私たちのために海のかなたに渡り、それを取って来て、私たちが行えるように聞かせてくれるのか」と言わなくてよい。

まことに、みことばは、あなたのすぐ近くにあり、あなたの口にあり、あなたの心にあって、あなたはこれを行うことができる。



【再度突きつけられる選択】 申30:15～16

見よ、私は確かに今日あなたの前に、いのちと幸い、死とわざわいを置く。

もしあなたが、私が今日あなたに命じる命令に聞き、あなたの神、【主】を愛し、主の道に歩み、主の命令と掟と定めを守るなら、あなたは生きて数を増やし、あなたの神、【主】は、あなたが入って行って所有しようとしている地で、あなたを祝福される。

■ 祝福か呪いか。命か死か。幸いかわざわいか。

あなたは、どちらを選ぶのか。

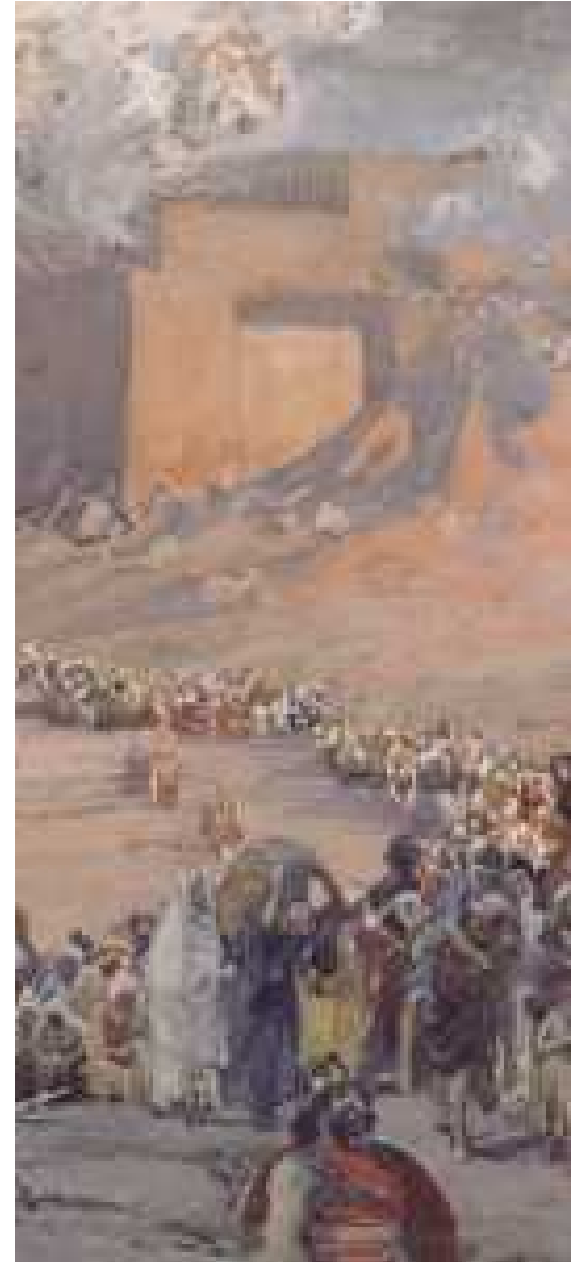
➡ 主は、あなたがよい方を選ぶよう、願われている。



【偶像礼拝への警告】 申30:17~18

しかし、もしあなたが心を背け、聞き従わず、誘惑されてほかの神々を拝み、これに仕えるなら、今日、私はあなたがたに宣言する。あなたがたは必ず滅び失せる。あなたがヨルダン川を渡り、入って行って所有しようとしているその土地で、あなたの日々が長く続くことはない。

- 偶像礼拝に陥ったイスラエルは、ついには、バビロニアによって滅ぼされた。(バビロン捕囚:BC586)
- メシア・イエスを拒んだ、その世代のイスラエルはローマによるエルサレム陥落(AD70)の悲劇を招いた。



【いのちを選び、主にすがれ】 申30:19～20

私は今日、あなたがたに対して天と地を証人に立てる。
私は、いのちと死、祝福とのろいをあなたの前に置く。

あなたはいのちを選びなさい。あなたもあなたの子孫も
生き、あなたの神、【主】を愛し、御声に聞き従い、主にす
がるためである。まことにこの方こそあなたのいのちであ
り、あなたの日々は長く続く。あなたは、【主】があなたの
父祖、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われたそ
の土地の上に住むことになる。

主こそ、私の命と告白しよう!!

■主は天地を通して、イスラエルを見守られている。

➡いのちを選ぶとは、主にすがり、主を信頼すること。



Ⅲ. まとめと適用

常に先立つ神の恵み
主の願いを選び取ろう

ガリラヤの丘



【土地の契約とは？】

■シナイ契約とは別のもの。アブラハム契約の土地の約束の発展版。

➡同時に、律法を補填する側面も。

★律法の祝福と呪いの原則をイスラエルに再度教えながら、
イスラエルとの契約における**神の恵みの側面を強調**する。

■イスラエルに約束された土地の権利証書。

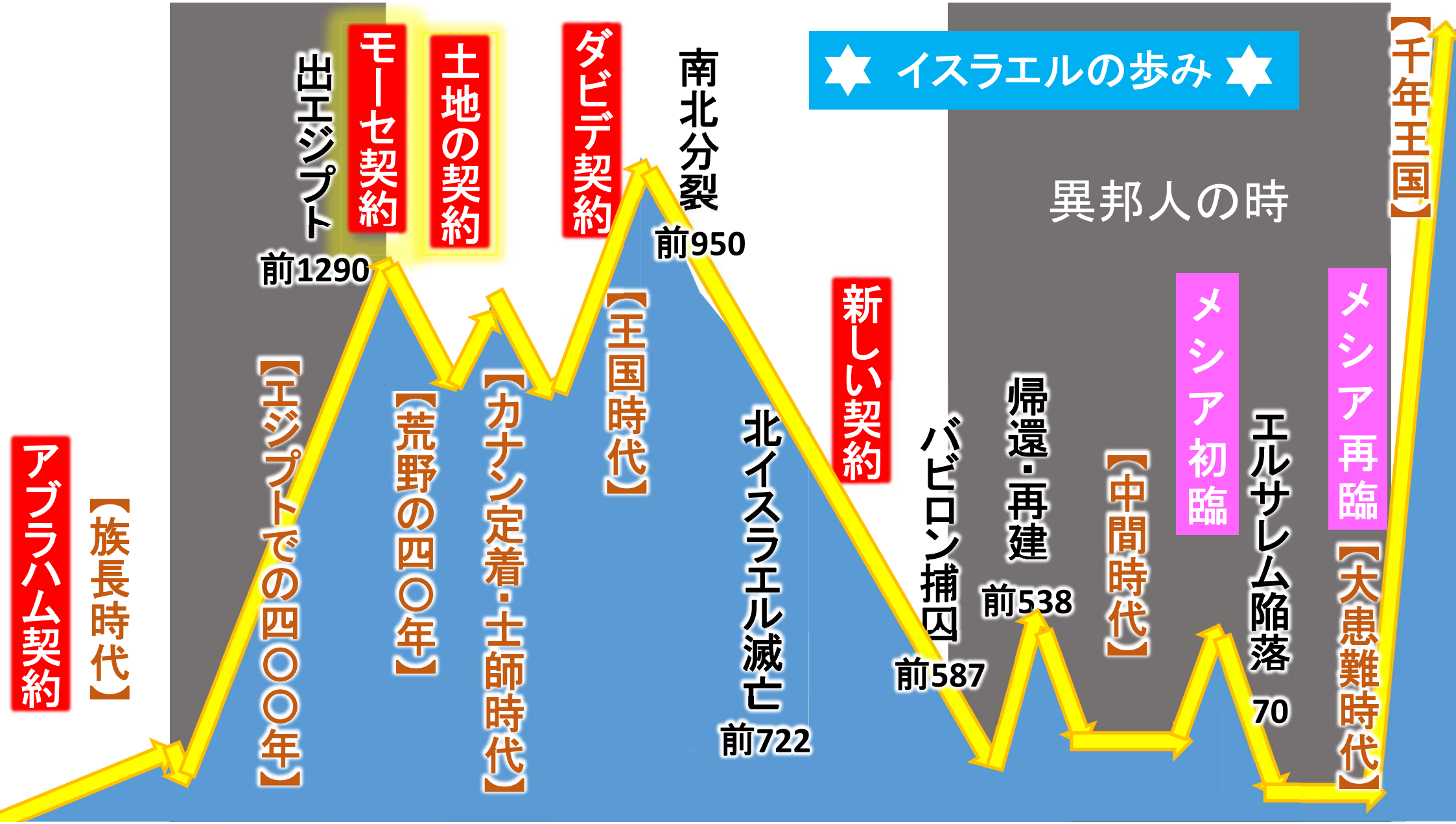
➡**占有権を失っても、所有権は失われることはない。**

■イスラエルの将来を警告し、最終的な神の国の到来を約束するもの。

➡イスラエルは、偶像礼拝に陥って、約束の地を追われ離散する。

➡**最終的に民族的回心に至り、永遠の約束の地へと入れられる。**

★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

【エジプトでの四〇〇年】

【荒野の四〇年】

【カナン定着・士師時代】

【王国時代】

北イスラエル滅亡

バビロン捕囚

帰還・再建

【中間時代】

メシア初臨

エルサレム陥落

【大患難時代】

【千年王国】

異邦人の時

南北分裂

新しい契約

前1290

前950

前587

前538

70



土地の契約から受け取るべき、
神さまの三つのメッセージ

①あなたは、罪を犯すよ。

②でもわたしは、見捨てないよ

③あなたが悔い改める時を待ってるよ

【土地の契約・背きへの厳しい警告と回復の約束が示すこと】

- 私たちは罪人である。信じて歩み始めても、なお罪を犯す。
犯した罪には、神のこらしめがある。神は、愛する子の成長を願われる。
- 神は、私たちが、よい方を選ぶことを切に願っておられる。
しかし、私たちは罪を犯す。神はご存じで、悔い改めを待ち構えている。
- どれだけ厳しい懲らしめを受けても、救いが取り去られることはない。
救いは、ひたすら主の恵みによる。
- 何かいいことをして認めてもらおうなんて余地は、まったくない!!
ただ、主の約束を信頼し、悔い改めつつ、主に従っていく。それしかない。

【今、私たちが立つべき土台】

- 律法が指し示すメシア、“主イエス・キリストは、私の罪のために十字架にかけられ、死んで葬られ、三日目に死を打ち破って復活された。”
主イエスは今も生きておられ、罪人の私を救うことができる。
ただ、この“福音”を受け入れ、主イエスを信頼すること。
- 信じた瞬間、古い私は死に、神に属する新しい命に生まれ変えられた。
私の内に聖霊が住まわれ、永遠の約束が私の心に刻まれた。
イスラエルが見捨てられることがないように、私も決して見捨てられない。
- 罪を犯し、懲らしめを受けるときがある。それは、神の永遠の愛のしるし。
悔い改めるなら、罪は赦される。主の御顔を仰ぎ見て、祝福を得よう。

【心に刻む、神の日々の道しるべ】

- 永遠の土地の契約においても、律法の祝福と呪いの原則が確認される。
神は愛する子の成長を願われ、警告し、見守り、迎え入れられる。
- 神は、人を愛し、愛し合う存在として造られた。愛するための自由意志。
ただ、一方的に受け取るだけでは、本当の愛の関係は生まれない。
愛に応答してこそ、愛のつながりは生まれる。
- 神は、神の愛に、私たちが応答し、神を愛することを求めておられる。
それは、神が、私たちと永遠の愛の関係を結ぶため。
- 主イエスにおいて、神の愛の業は成し遂げられた。
主イエスの愛を受取り、受取り続けていこう。神の愛に応答していこう。
喜んで御言葉を学び、日々に適用し、失敗したなら立ち返り、
はかりしれない、主の恵みを味わって行こう。

「天のお父さま。

わたしは、み子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖(あがなう)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信じます。

それでもなお、罪を犯(おか)すわたしがいます。

主よ、どうかゆるしてください。

あなたの愛に、せいっぱいの愛をもって、こたえることができますように。

神さまの、はかりしれない恵みを、ぞんぶんに受(う)けとっていけるように、

どうか、わたしの心を砕(くだ)き、たしかに導(みちび)いてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。

アーメン」